

新潟市バイオリサーチセンター指定管理者事業計画

項目	NBRP共同企業体(選定者)					
(1) 事業者の概要	団体構成	代表団体			構成団体	
	団体名 本社所在地 設立年月日 資本金 役員・従業員数 事業内容	新潟バイオリサーチパーク株式会社 代表取締役社長 後藤 博 新潟市秋葉区東島 316 番地 2 平成 15 年 4 月 16 日 170,950 千円(うち市出資 20,000 千円/11.7%) 役員 9 名、正職員 1 名、臨時・パート等 3 名 機能性食品の評価事業、食品の安全性に対する HACCP 講習会、 HACCP 義務化に関するサポート業務、 大学の研究者を結ぶ産学連携コーディネーター業務、 大学等の技術の移転に関する調査研究、コンサルティング業務他			株式会社ブルボン 代表取締役社長 吉田 康 柏崎市駅前 1 丁目 3 番 1 号 大正 13 年 11 月 20 日 1,036,653 千円 役員 24 名、正社員 4,227 名、臨時・パート等 673 名 菓子・飲料の製造・販売 他	
	施設管理実績	新潟市バイオリサーチセンター(平成 17 年 7 月～) ※平成 22 年 4 月～:共同企業体として管理運営			新潟市バイオリサーチセンター(平成 22 年 4 月～)	
	<経営状況> 総収入 総支出 当期損益 累積損益	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
	77,015,032 円	40,046,266 円	57,583,651 円	117,929 百万円	117,877 百万円	113,744 百万円
	71,265,612 円	46,111,875 円	56,125,928 円	114,812 百万円	114,220 百万円	110,092 百万円
	5,749,420 円	▲6,065,609 円	1,457,723 円	3,117 百万円	3,657 百万円	3,652 百万円
	▲145,910,798 円	▲151,660,218 円	▲145,594,609 円	39,792 百万円	37,203 百万円	34,026 百万円
※経営状況は、連結損益計算書の金額を計上						
(2) 団体の経営理念・ 経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟薬科大学との連携を中核としてバイオ技術を推進する体制のもと、「食」「環境」「健康」に関する事業を推進するために新潟市バイオリサーチセンターを産官学の活動の拠点として、その管理運営を円滑に行います。</li> <li>事業の育成とその成果を検証しながら、地域バイオ産業の育成・振興・発展に貢献することを目的として新潟市バイオリサーチセンターの管理運営にあたります。また、新潟バイオリサーチパーク(株)の財務基盤は、機能性食品評価事業における食品のヒト試験実施や食品安全事業における HACCP ワークショップ・講習会等の開催などコーディネーターを行っており、昨年度は最終的に黒字を達成しております。今後の活動の基盤も確立されてきていると判断しております。</li> </ul>					
(3) 指定管理者申請 の動機	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市バイオリサーチセンターは「新潟市バイオリサーチパーク構想」によって研究開発を推進、支援する上での中核施設であり、産学官連携の推進において必要不可欠な施設です。産学官連携研究開発等のコーディネーター業務は、新潟バイオリサーチパーク(株)の自主事業でもある機能性食品評価事業や食品安全事業を通して得た技術や実績、そして経験を継承し、(株)ブルボンが同社の経験を生かし、施設・設備の安全・適正管理の立案及び総括を行い、新潟市バイオリサーチセンターを管理運営することが同施設の効用を最大に発揮できるものと考え申請いたしました。</li> </ul>					
(4) 管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟市バイオリサーチセンター条例第 21 条で規定されている業務を行う際には、新潟市バイオリサーチセンター条例及び新潟市バイオリサーチセンター条例施行規則を遵守し、業務仕様書、各種マニュアルに従い本業務を実施します。</li> <li>施設、付帯設備及び備品等の適正な管理に務めると共に、施設・設備の維持管理については、これまでの指定管理業務の経験を生かし、新潟バイオリサーチパーク(株)が警備・清掃、各設備の定期点検等の日常的な維持管理業務を行い、維持管理のための立案及び総括を(株)ブルボンが行うことで、効率的な管理運営を行います。</li> <li>施設・設備の保守点検など、法令通りの実施を徹底すると共に、不具合があった時は迅速に対応します。</li> <li>施設の効用を最大限発揮するために、産学連携コーディネーター業務を積極的に行います。</li> <li>施設の管理運営にあたっては、電気・ガス・水道等の効率的利用、廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進等環境に配慮した管理運営に努めます。</li> <li>利用者に対し分け隔てのない対応を心がけます。</li> </ul>					
(5) 利用者確保の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在新潟薬科大学と交わしている包括連携協定の継続を基に、産官学連携推進センターと協力し、企業の研究ニーズの情報を共有することで入居のアプローチを行います。</li> <li>NBRP 共同企業体の新潟バイオリサーチパーク(株)が進めている自主事業の機能性食品評価事業、食品安全事業、産官学連携事業などの活動を通じて広報を行うほか、(株)ブルボンでは、お取引先企業(特に原材料供給メーカー)との商談時においてセンターの紹介活動を行い、センター入居者の確保に努めます。</li> <li>施設利用者様の意見や要望を管理運営に反映し、利用者様のサービス向上に努めると共に、施設の利用促進を図ります。</li> <li>ホームページやチラシのほか、Twitter などでも施設の情報を発信していきます。</li> </ul>					
(6) 組織・人員体制	NBRP 共同企業体(人員体制:社員 5 名※自主事業にかかる人数も含まれる) 新潟バイオリサーチパーク(株):施設管理の日常業務、メンテナンス、産官学連携推及びコーディネーター業務 (株)ブルボン:建物および設備機器の維持管理と安全対策に関する立案					
(7) 人材育成対策	(施設共用業務) <ul style="list-style-type: none"> <li>「個人情報の保護に関する取り扱い仕様書」を参考に、個人情報の保護の重要性を認識し、個人情報の取り扱いについて研修を行い周知徹底を図ります。</li> <li>苦情(クレーム)に対する対応方法や交渉方針などを検討し、対応者によって対応が異ならないように研修を行います。</li> <li>施設利用者や訪問されたお客様への対応方法など分け隔てのない適切な対応を身につけるために、接遇研修を行います。</li> </ul> (産官学連携推進コーディネーター業務) <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟薬科大学が保有しているバイオテクノロジーに関する技術、特許、研究課題などの情報について共有化し、コーディネーターの活動と常にリンク出来るよう指導を行います。</li> <li>新潟薬科大学産官学連携推進センターと定期・不定期的情報交換会を設定し、情報の共有が出来るよう努めます。</li> </ul> (施設・設備管理業務) <ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理における理解度を高めるため、管理マニュアルを作成し、どの社員が業務を行った場合でもスムーズに運営が出来るよう知識継承に努めます。</li> <li>消防計画書及び地震マニュアルに基づき、社員及び施設利用者が守るべき事項や火災発生時及び地震発生時など、緊急時の対応について十分理解をしてもらうよう訓練を行います。また、火災発生時などどのような対応を取ることが安全なのか、消防訓練終了後、業者の方から指導いただく時間を設け、利用者の方々と考える時間をつくりたいと思います。</li> <li>利用者が安全で快適に施設を利用できるように、「新潟市バイオリサーチセンターの管理に関する協定書」および「新潟市バイオリサーチセンター指定管理者業務仕様書」にしたがって管理運営が出来るよう周知いたします。</li> </ul>					

項目	NBRP共同企業体(選定者)															
(8) 要望や苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見や要望を把握するため利用者アンケートを実施し、利用者の意見を施設運営の業務改善に活用するため、対応可能なものはできるだけ速やかに施設運営に反映させるように努めます。</li> <li>・即座に対応できない事項や要望に応えられないようなご意見には、誠意をもってご説明しご理解いただけるよう努めます。</li> <li>・苦情対応は、十分話を聞くなど丁寧に対応し、社内及び新潟市への適切な情報伝達が出来るよう努めます。</li> </ul>															
(9) 安全確保・災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害等の緊急事態が発生した場合に対応できるよう、年一回消防訓練を実施します。また、消防訓練終了後、施設利用者との情報交換会を開き、防災・危機管理の意識向上を目指します。</li> <li>・大規模な停電等が発生した場合、各研究室の冷蔵庫等に保管されている貴重なバイオ関連物質などの損失が最小限にとどまるよう発動発電機を設置し、そのマニュアル化を図ります。</li> <li>・各種防災関連マニュアル(地震対策マニュアル、ガス異常発生時における緊急対処フローチャート)に防災関連機関等の緊急連絡先を明確化し、迅速な情報伝達と二次災害等が発生しないように努めます。</li> <li>・新潟市バイオリサーチセンター消防計画の内容を整備し、防火管理についての必要事項を定め、火災、地震、その他災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ります。</li> <li>・備品・ロッカー・照明器具等の転倒落下防止対策及び耐震補強、安全スペースの確保などを行うよう推進します。</li> </ul>															
(10) 利用者情報および個人情報の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報の保護に関する取り扱い仕様書」に基づき、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報を適切に取り扱います。</li> <li>・パソコンのパスワードの設定、パスワードの適宜変更など、ログイン時のセキュリティ保護の徹底を周知させます。</li> <li>・センター利用者の情報に関しては、本人の承諾なしに教えることはできない旨を伝え、こちらから連絡できるように先方の連絡先を確認し本人に伝えるよう周知させます。</li> <li>・個人情報の記載した書類をメールで送るときは、第三者に個人情報が見られないように、解凍パスワード付の添付ファイルを使用します。</li> </ul>															
(11) 効率的・効果的な経費支出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械警備業務、清掃管理業務、消防用設備等保守管理業務、昇降機設備管理業務、自動ドア保守点検業務、樹木管理業務については、専門的知識および実績のある業者に外部委託します。</li> <li>・外部委託の選択について合見積もりを作成し、安価な経費を優先としますが、実績と安心・安全管理が保障できる業者を選定します。</li> <li>・利用者にも、施設の資源や物品を大切に使うよう掲示板への張り紙やメール配信など注意喚起を行います。</li> <li>・消耗品費及び電話料など事務費においても、施設の効用を妨げることない最低限度の節約を実施していきます。</li> <li>・エアコンの省エネ対策、照明の昼休み消灯などに努めるほか、館内の照明を在所場所のみ点灯、人感センサーを活用した共用部照明の部分点灯に心がけ、節電対策を実施いたします。</li> </ul>															
(12) 産学連携 コーディネート 事業	<p>新潟薬科大学との包括的連携協定を軸に以下の産学連携コーディネートを進めてまいります。</p> <p>&lt;新潟薬科大学との包括連携&gt;</p> <table border="1" data-bbox="352 1347 1969 1463"> <tr> <td data-bbox="352 1347 1226 1389">①新潟市が進める「新潟市バイオリサーチパーク構想」に関する事項</td> <td data-bbox="1226 1347 1969 1389">②産官学連携に関する知的財産管理事業に関する事項</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1389 1226 1430">③研究者等の人材育成・人材交流に関する事項</td> <td data-bbox="1226 1389 1969 1430">④ヒトを対象とする研究に係る業務(食品ヒト試験等)に関する事項</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="352 1430 1969 1463">⑤その他、地域の活性化に関する事項(HACCP等)</td> </tr> </table> <p>上記包括連携協定によりセンター利用者は、新潟バイオリサーチパーク(株)を通して、新潟薬科大学の人的・知的資源を容易に活用でき、より高度な健康科学関連分野の情報集積を図るとともにバイオテクノロジーの応用研究の充実と技術開発の高度化を促進することが可能となります。</p> <p>&lt;&lt;具体的な実施項目&gt;&gt;</p> <table border="1" data-bbox="352 1567 1969 1685"> <tr> <td data-bbox="352 1567 1226 1608">①新潟薬科大学の研究者及び研究室情報の紹介</td> <td data-bbox="1226 1567 1969 1608">②同大学内で使用できる分析機器等の情報提供</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1608 1226 1650">③同大学が主催、共催、後援するセミナー及び技術講習会等の情報提供</td> <td data-bbox="1226 1608 1969 1650">④競争的資金の情報提供と支援</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1650 1226 1685">⑤同大学の研究者との委託研究や共同研究、技術指導等のコーディネート</td> <td data-bbox="1226 1650 1969 1685">⑥新潟市「健康づくり応援食品認定制度(NFV 特区課)」の支援</td> </tr> </table>				①新潟市が進める「新潟市バイオリサーチパーク構想」に関する事項	②産官学連携に関する知的財産管理事業に関する事項	③研究者等の人材育成・人材交流に関する事項	④ヒトを対象とする研究に係る業務(食品ヒト試験等)に関する事項	⑤その他、地域の活性化に関する事項(HACCP等)		①新潟薬科大学の研究者及び研究室情報の紹介	②同大学内で使用できる分析機器等の情報提供	③同大学が主催、共催、後援するセミナー及び技術講習会等の情報提供	④競争的資金の情報提供と支援	⑤同大学の研究者との委託研究や共同研究、技術指導等のコーディネート	⑥新潟市「健康づくり応援食品認定制度(NFV 特区課)」の支援
①新潟市が進める「新潟市バイオリサーチパーク構想」に関する事項	②産官学連携に関する知的財産管理事業に関する事項															
③研究者等の人材育成・人材交流に関する事項	④ヒトを対象とする研究に係る業務(食品ヒト試験等)に関する事項															
⑤その他、地域の活性化に関する事項(HACCP等)																
①新潟薬科大学の研究者及び研究室情報の紹介	②同大学内で使用できる分析機器等の情報提供															
③同大学が主催、共催、後援するセミナー及び技術講習会等の情報提供	④競争的資金の情報提供と支援															
⑤同大学の研究者との委託研究や共同研究、技術指導等のコーディネート	⑥新潟市「健康づくり応援食品認定制度(NFV 特区課)」の支援															
(13) 自主事業についての事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性食品評価事業(食品ヒト試験)、食品安全事業(HACCP コーディネート)である自主事業を通して、食品産業における機能性食品評価の支援の拠点施設を目指します。</li> <li>・機能性食品評価事業である、分析支援・動物実験支援・ヒト介入試験の実施に伴う開発支援は、センターに活動拠点を置くことにより、入居者である日本食品分析センターや、新潟薬科大学の研究者とも、分析や動物試験関連評価の連携を進められます。そのほか本事業の主力である食品ヒト介入試験についても、新潟市農業活性化研究センターや新潟県農業総合研究センターにおいても技術的な評価を頂いており、穀物などをはじめとする食品素材の機能性研究の探索に大きく貢献しております。今後新潟薬科大学だけでなく、専門的に素材の探索研究をされている新潟大学をはじめとする他大学の研究者と結び、その活動拠点をセンターに置くことで、多くの食品企業の利用価値を高め、製品開発に貢献していきます。また、もう一つの事業である食品安全事業についても、来年の6月よりHACCP義務化によって食品製造業のほか外食産業など、その対応に苦慮している企業は少なくありません。そこで新潟薬科大学の研究室の協力をお借りし、HACCP 関連等のコンサルティングや業界団体向けの対応を現在進めており、この2つの自主事業の展開拠点をセンター内に置くことにより、食品企業の利用価値は高まります。</li> </ul>															
(14) 収支計画 (令和2年度)	収 入		支 出													
	指定管理業務会計	11,986 千円	指定管理業務会計	11,986 千円												
	新潟市からの指定管理料(委託料)	11,976 千円	人件費	4,800 千円												
	自主事業収入	10 千円	管理費	6,460 千円												
			事務費	726 千円												
	自主事業会計	54,538 千円	自主事業会計	46,929 千円												
	大学機関からの受託事業	5,588 千円	人件費	17,989 千円												
	機能性食品評価事業(臨床試験等)	46,200 千円	固定費	5,005 千円												
	食品安全事業	1,100 千円	売上原価	23,925 千円												
	会費収入等	1,650 千円	提案等により指定管理業務会計に充てる金額	10 千円												
	収入合計	66,524 千円	支出合計	58,915 千円												